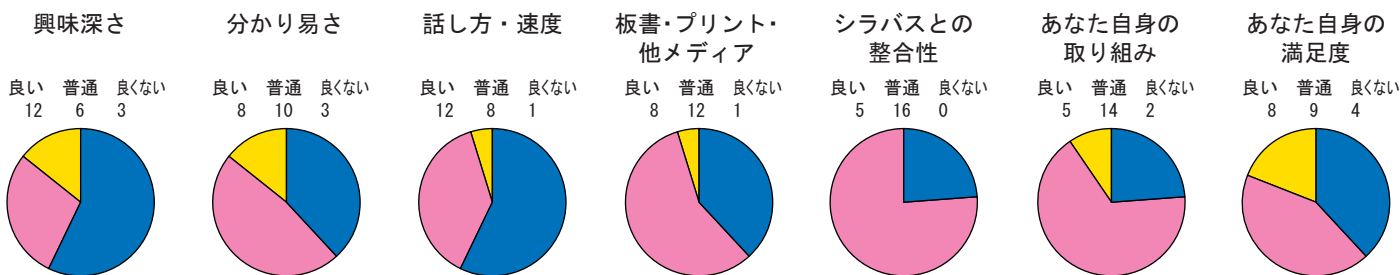


平成15年度2学期 生物学類授業評価

「微生物学Ⅰ」

回答者数：21名 履修申請生物学類生数：62名 (回答率33%)



良かった点

- ・いろいろな、まだ明らかにされていないことを、ちゃんと明かしている点。
- ・毎回、わかりやすいプリントが配られて復習しやすかった。出席表の質問をやりっぱなしにする先生が多い中で、ちゃんとフォローしてくれる先生は貴重だと思った。かなりわかりやすい授業で、毎回興味深く聞くことが出来た。
- ・バイオウンフォマティックスの話聞いて面白かったです。(少し仕組み自体が難しかったのですが)
- ・丁寧に分かりやすかった。
- ・毎回の小テストは、その回のポイントが分かってよいと思う。模範解答を、次のプリントなどに盛り込むとさらに良いと思う。
- ・質問にも丁寧に答えてくれたし、毎回授業の終わりに確認のテストがあつてよかった。
- ・スライドショーをプリントアウトしてあつたところ。小テストを行ったことで、確認を深められたこと。
- ・プリントを配ってくれたのはよかった。

改善すべき点

- ・英語のプリントは難しい。
- ・プリントにもう少し文字での解説がほしかった。
- ・系統樹の説明が早かった。もっと時間を掛けるか、どれかに絞るか、プリントを充実させるかなどして欲しい。
- ・毎回のテストの回答例が小さくて読めなかった。
- ・小テストの解説をメモする時間が足りなかったのが残念です。
- ・話しの語尾が聞き取りにくいことがあった。

担当教官のコメント

初めての講義で不備な点が多かったことを反省している。とくに、分子系統樹の説明を短い時間でそれなりに行おうとしたこと自体失敗だった。今後この講義では「系統樹の見方」のみに限定して簡単に済ませたい。配ったプリントも説明不足の点が多かったので、不十分な点は改訂する。出席表代わりの小テストは講義内容の理解を深めるのに重要だったと思われるので今後も実施する。生物の初期進化の歴史と微生物界の多様性を理解するという目標は変えないが、その実現のため、講義で取り上げるべき話題の十分な吟味と取捨選択を行っていきたい。